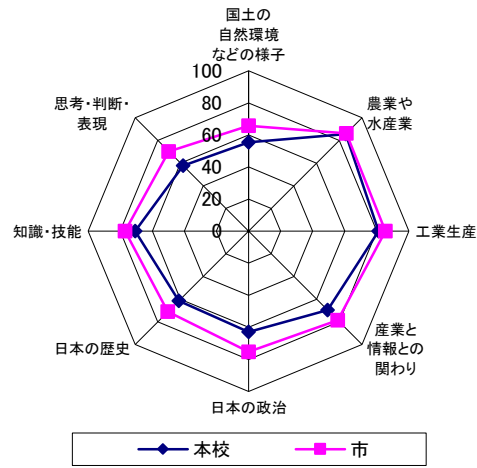


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	55.5	65.7	67.0
	農業や水産業	85.6	86.1	77.5
	工業生産	81.1	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	69.7	78.6	69.6
	日本の政治	62.9	75.2	65.8
	日本の歴史	61.4	71.1	69.1
観点別	知識・技能	70.7	77.0	72.8
	思考・判断・表現	57.8	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	●本校の正答率は、55.5%で、市の正答率65.7%を、約10%下回った。 ●日本の周辺の海洋名についての理解は、63.6%で市の平均をやや下回り、日本の周囲の国と領土の端についての理解は、50%で、市の正答率を下回った。 ●日本の気候の様子に着目して、雨温図から都市の位置を考え、判断する内容については、22.7%で、市の正答率38.7%を下回った。	・資料を正確に読み取る技能を高める必要があると思われる。 ・主に海洋名や周囲の国と領土の端についての理解は、地図帳等を使って再確認する必要がある。 ・気候から都市の位置を考え、判断する内容については、国土の様子に対しての理解を深める必要がある。さらに児童の興味関心を高めていけるよう、視覚的資料を活用していく。
農業や水産業	○本校の正答率は85.6%と、市の正答率86.1%とほぼ同じで、参考値より高い数値だった。 ○米作りの作業の理解をもとに、資料を読み取る力については84.8%で、市の正答率82.6%よりやや高かった。 ○水産業の国内生産量と輸入量の変化について、資料を読み取る問題では89.4%と、市の正答率の90.5%とほぼ同じで、参考値を上回った。 ○食料生産に関する地図を読み取る内容では、84.8%と、市の正答率の86.6%とほぼ同じで、参考値を12.5%上回った。	・農業や水産業に対する理解は高いので、今後も私たちの毎日の生活と深く結びついていることを再確認できるよう、特色などを考えさせたり、地図や統計からそれを読み取ったり、報道などを日頃から取り上げたりするなど、児童の興味関心をさらに高め、理解を深めていく。 ・日本の食料生産について、資料を正確に読み取る技能が定着してきていると思われる。今後もその力を伸ばしていく。
工業生産	●本校の正答率は80.1%で、市の正答率85.4%をやや下回った。 ○工業製品の種類についての理解をみる問題では、92.4%で市の正答率92.3%とほぼ同じだった。 ●電気自動車に着目して、環境に配慮されて生産された自動車について考え、ガソリン車と比較して表現する問題では69.7%で、市の正答率78.4%を下回った。	・環境問題の興味関心を高めていけるよう、地球に優しい取組や地球温暖化、環境保全の重要性に関するテーマ等を取り上げていく。
産業と情報との関わり	○本校の正答率は69.7%で、市の正答率78.6%を下回り、全国の参考値とほぼ同じだった。 ○放送、新聞等に着目して、情報産業の役割や責任の大きさについて捉え、判断する問題では、48.5%で、市の正答率65.7%よりかなり下回った。 ○情報の正しい受け取り方について理解しているかをみる問題では、90.9%で市の正答率91.6%とほぼ同じで参考値よりかなり上回った。	・情報ネットワークの利便性ととも、その重要性和正しい利用法について、様々な面から考えることができるよう、いろいろな資料を活用して調べる経験を増やしていく。
日本の政治	●本校の正答率は62.9%で、市の正答率75.2%を下回った。 - 日本国憲法に着目して、日本国民の権利及び義務について捉え、判断する問題では、81.8%と、市の平均87.5%よりやや低かった。 ●国会の働きについて尋ねた問題では、正答率62.1%と市の平均66.8%よりやや低かった。	・日本国憲法は、国の骨幹に関わる大切な事項なので、その重要性について具体例を挙げて押さえていくようにする。 ・国会の働きに対しての理解が不足しているので、時事問題等を例に挙げ、身近な問題としてとらえられるよう工夫して、学習内容の定着化を図る。
日本の歴史	●本校の正答率は61.4%で、市の正答率71.1%を約10%下回った。 ○縄文時代～平安時代の藤原氏の政治についての理解では、本校の正答率は80.3%で、市の正答率は84.7%だった。 ○鎌倉～室町時代の平清盛についての理解は、本校の正答率43.9%と市の正答率と比べてかなり低かったが、資料からご恩と奉公について読み取る問題では、正答率77.3%と、市の正答率は80%だった。	・歴史の内容は、範囲も広く覚える内容が多いが、各時代の流れを、関係やその功績についてポイントを絞って押さえていくようにする。 ・人物と時代の流れとの関係や当時の文化について資料から読み取り、まとめる経験等をより増やして、学習内容の定着化を図る。